



福島県立小高工業高校との連携プロジェクト

福島県立小高工業高校は、今なお東日本大震災の影響で仮設校舎・仮設実習棟で教育活動を行っており、学習環境は十分でない状況です。また、地域の多くの児童生徒が仮設校舎で学んでおり、震災前の環境と大きく異なり、心のケアが重要と思われます。学校は地域コミュニティでの核であり、地域の子どもの育成や絆づくりと活力あるコミュニティの形成など未来の地域社会を創る良い仕組みづくりが求められています。

そこで、福島県立小高工業高校と連携して、「手作り3Dプリンターでつなぐ”未来・絆”プロジェクト」して、上記の課題を解決するための活動を実施しています。これには、Yahoo! 基金の2015年度助成プログラム復興支援助成部門の採択をいただきました。

具体的な活動として次のことを実施するものです。

1 3Dプリンター組立てワークショップの開催

小高工業高校と山形県内の工業高校が連携して、学び合い・交流を通じて、福島県産の主要部品を使用した手作りの3Dプリンターを完成させる。

2 3Dプリンター活用イベントの実施

ワークショップで完成した手作りの3Dプリンターを活用し、小高工業高校が主体となって、近隣の学校での出前授業、地域のパブリックスペースでの体験型イベント等を実施する。

皆さん、ご支援ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

<http://kikin.yahoo.co.jp/info/2016/022517.html>



やまがた社会貢献基金公開プレゼンテーション開催

去る平成28年5月10日(火)13:30より村山総合支庁会議室において、やまがた社会貢献基金「平成28年度協働助成事業(テーマ希望型)」公開プレゼンテーションが行われました。

やまがたメイカーズネットワークでは、「イオン・さくらんぼWAON子どもの健全育成支援事業」に応募し、プレゼンテーション審査を受けました。事業名は「山形発! 3Dプリンターで創る人財育成ネットワーク事業」です。

内容は、県内企業の協力を得ながら、手作りの3Dプリンターを高校生が製作し、創造的な学習活動を展開し、3Dプリンターを活用した体験教室やイベントなど地域社会と連携した協働事業などを展開するものです。

審査結果は、後日県ホームページに公開されます。採択されますよう願っています。



第2回タブレット端末で学習ゲームをやってみよう

去る平成28年3月20日(日)10:30~15:00に山形県産業科学館2階フリースペースにおいて、大好評につき、1月の開催に続いて「第2回タブレット端末で学習ゲームをやってみよう!」のイベントをやまがたメイカーズネットワーク主催により実施しました。42名の子どもたちがタブレット端末を用いて、楽しみながら学習ゲームを行いました。学校にもタブレット端末が導入され、ICT活用される時代になってきました。

開催希望の声を多数いただいていますので、今後も3Dプリンターやプログラミング教室などのイベントを実施していく予定です。

